

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	RIS保育所等訪問支援			
○保護者評価実施期間	2025年 11月1日 ～ 2025年 12月26日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	66	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年 12月26日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○訪問先施設評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年 12月26日			
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	35	(回答数)	16
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月1日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童一人ひとりの特性や状況を丁寧に捉え、訪問先施設の環境や方針を尊重しながら、専門性を活かした柔軟な支援を行っている点。	事前の打ち合わせが難しい場面においても、訪問時の状況を的確に把握し、児童や訪問先施設に無理のない形で支援を行うことを意識している。	今後も専門性の向上に努めるとともに、より多角的な視点で支援提案ができるよう、情報収集や振り返りを継続していく。
2	保護者および訪問先施設との情報共有が丁寧で、安心感につながる支援報告を行っている点。	支援後には記録や連絡を通じて、児童の様子や支援の意図が伝わるよう、分かりやすい表現を心がけている。	今後も共有方法や記録内容の工夫を重ね、保護者や関係機関が支援の経過を把握しやすい形を継続して検討していく。
3	児童との信頼関係を大切にし、安心して関われる支援を継続している点。	児童の気持ちやペースを尊重し、肯定的な声かけや関わりを通して、前向きに支援に参加できる関係づくりを意識している。	今後も児童の主体性を大切にしながら、安心して成長を支えられる関わりを継続していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラムや保護者向けの研修など、体系的な家族支援の機会が十分とは言えない点。	訪問支援を主とした事業形態のため、集合型や定期的な家族支援の機会を設けにくい状況がある。	オンラインの活用や資料提供など、保護者が参加しやすい形での情報提供について検討を進めていく。
2	訪問型支援であるため、事業所の取組や活動内容が外部から見えにくい点。	日常の支援が訪問先で完結することが多く、支援の様子を可視化する機会が限られている。	ホームページやSNS等を活用し、支援の考え方や取組内容について分かりやすく発信していく。
3	相談体制や緊急時対応について、利用頻度が少ない保護者には分かりにくい部分がある点。	日常的に大きなトラブルが少ないため、相談窓口や対応体制について説明する機会が限られている。	相談方法や緊急時対応について、定期的な周知や分かりやすい資料の整備を進めていく。

公表 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 R15保育所等訪問支援

公表日 2026年 2月 1日

利用児童数 66人

2025年 12月26日

回収数 21

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	10	2		9		
	2	プレイバ(シー)に配慮された面接室等が整えられていますか。	9	2		10		
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	21					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	20		1		完全に学校とR15さんにお任せしていますので、こちらへの相談は不要です。今後も、学校と調整してもらえば大丈夫です。	学校や訪問先施設との連携を大切にしながら、引き続き関係機関と調整の上、適切な支援の頻度や時間の設定に努めてまいります。
適切な 支援の 提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	18			3		
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1			大変お忙しいのは重々理解しておりますがSTさんに摂食や言語面での評価をして頂けると嬉しいです。	ご希望に添えず申し訳ありません。専門職としての視点を活かし、言語面や摂食面を含めた評価・助言について、空き状況に応じて、調整を進めてまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	16			5		
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19			2		
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	21					
	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	3	3	9		
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができていると思いますか。	19	2			適宜、しかも気軽にLINEにてやり取りできるのがありがたいです。	LINE等を活用した気軽な情報共有を継続し、今後も保護者と密に連携を図りながら支援を進めてまいります。
保護者 への 説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	4	1	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20			1	ありがたいと思える程です。こちらが恐縮するくらい、肯定的で共感的な対応をして下さっています。	保護者や児童の思いに寄り添った共感的な関わりを大切にし、今後も安心して相談いただける対応を心がけてまいります。
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	3		2	そのような形で利用したことはありませんが、可能な限り対応して下さると思っています。	ご意見を踏まえ、今後も相談や申入れがあった際には、迅速かつ丁寧に対応できる体制を維持するとともに、保護者の方が安心して相談できるように、相談方法や体制について分かりやすい周知に努めてまいります。
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20			1	LINEは気軽に便利です。	LINE等を活用した気軽に分かりやすい情報共有を今後も継続し、保護者との円滑な意思疎通を図りながら、安心して支援を受けていただけるよう努めてまいります。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	17			4		
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	14	1	1	5	連絡ノートに、よく「菊池さんとも話をして」と記載されていますので、ありがたいです。	訪問後の記録や連絡を通じて、訪問先施設との情報共有を継続し、信頼関係を大切にしながら、支援内容について相互に確認・共有できる機会を今後も確保してまいります。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	20	1			記録が詳しくかつ分かりやすく、引くどくという素晴らしいものだと思います。参考にしたいくらいです。	支援内容や児童の様子について、引き続き分かりやすく丁寧な記録・報告を行い、保護者が安心して支援の経過を把握できるよう努めてまいります。
	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	2		4		
非常時 等の 対応	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようなにしていると思いますか。	15	1		5		
	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	1				
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	20			1	遠坂先生次いつ？など家でいつも聞いてきます 信頼しています。	児童との信頼関係を大切にし、安心して支援を受けられる関わりを今後も継続することで、児童が前向きに訪問支援に取り組める環境づくりに努めてまいります。
	28	事業所の支援に満足していますか。	21				いつも丁寧に報告してくださって、感謝しています。 満足以上です。娘の成長を大きく進めさせて下さっています。感謝しきれません。	いただいたご意見を助みに、今後も丁寧な支援と分かりやすい報告を心がけ、保護者や関係機関と連携しながら、より質の高い支援の提供に努めてまいります。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2026年 2月 1日

RIS保育所等訪問支援

利用児童数

35 2025年 2月 1日

回収数16

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	14	2		●本人の必要としている支援をしてくだ さっているため、安心して活動がしやす くなっていると思います。 ●生徒本人の実態に応じた助言をいた でけるので取り入れやすいです。 ●毎回、連絡帳を共有させて頂いてわか りやすいです。 ●他機関での本児の姿なども考慮し、助 言して頂けることが良いです。	●支援が児童の安心感や活動のしやす さに貢献できているとのこと、大変嬉 しく思います。今後も必要な支援を提 供できるよう、丁寧に観察と対応を 行ってまいります。 ●実態に応じた助言が取り入れやすい と感じていただけて光栄です。引き続 き、具体的に現場で活用しやすい助言 を心がけてまいります。 ●連絡帳の共有が支援のわかりやすさ につながっているとお言葉をありが とうございます。継続して適切な記録 を行い、共有を通じて連携を深めてま いります。 ●他機関での様子も考慮した助言が評 価されていることを嬉しく思います。 今後も多方面での情報を基に、適切な 支援につながるアドバイスを伝えるよ う努めます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	15	1		●適切な支援をしてくださっていると 思います。 ●質問したことへの回答や支援員の方から の助言は、とても参考になり満足して おります。 ●訪問支援後に短時間でですがディスカ ッションできているので良いと思います。 ●保育の中に違和感なく入って頂けるの で、本児も混乱しなく過ごせています。 ●経験がある方だと思うので、対応は良 く、言葉も見習わなくてはならない。	●支援が適切であると感じていただ けていることを嬉しく思います。今後も 現場に即した支援を提供し、引き続き ご期待に応えられるよう努めてまい ります。 ●質問への回答や助言が参考になっ ているとのこと、ありがとうございます です。ご満足いただける内容をお伝え できるよう、今後も丁寧な対応を心が けてまいります。 ●訪問支援後のディスカッションが評 価されていることを嬉しく思います。 短い時間でも有意義な情報交換がで きるよう、引き続き努めてまいります。 ●保育の流れを乱さず支援できている ことが本児の安定につながっていると 伺い、大変励みになります。今後も自 然な形で支援を心がけてまいりま す。 ●対応や言葉遣いにご評価をいた だき、ありがとうございます。さらにス キルを磨いてまいります。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	14	2		●適度な距離感をとりつつ、本人が必要 な時に応じてくださっていると思い ます。 ●困っていることを質問すると、いくつ か提案していただけて助かっています。 ●本児の発達段階や特徴を共通理解し た上で相談できるのでわかりやすいです。	●適度な距離感を保ちながら必要な 支援を提供できているとの評価をありが とうございます。 ●複数の提案が役立っているとお言 葉をいただき、嬉しく思います。 ●発達段階や特徴を共有した上での相 談がわかりやすいと感じていただ けていることは、大変励みになります。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	15	1		●支援者の方が来ることをきっかけで、 気持ちを切り替えて活動に参加するこ とが増えました。 ●アドバイスいただいたことを試すこ とで、少しずつ解消しています。 ●少しずつ解消されていくと思ってい ます（継続していくことで）。 ●園内の姿だけでなく、家庭や他機関と の連携のかけ橋になってもらい、広い目 で見ることができるようになりました。	●児童の気持ちの切り替えや活動参加 につながっているとお言葉をありが とうございます。 ●アドバイスの問題解消の一助となっ ているとのこと、大変嬉しく思いま す。 ●継続的な取り組みの中で改善がみ られるよう、引き続き伴走してまいり ます。 ●家庭や他機関との連携を通じた支援 を今後も大切にしてまいります。
5	事業所からの支援に満足していますか。	15	1		●担任が手の回らないところで、本人に 必要な支援をしてくださっているため、 とてもありがたいです。 ●助言の内容、回数ともに満足してい ます。 ●音段なかなか1対1での長時間の対応が できないのでとても助かっています。大 満足です。	●支援が必要な場面でお役に立って いるとのこと、大変嬉しく思います。 ●助言が内容・頻度ともにご期待に 沿えていることを光栄に思います。 ●1対1の支援が役立っているとお言 葉をありがとうございます。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
●今年度支援に入っていたくようになってから、できることの幅が広がったように感じます。 ●子どもに寄り添って支援していただき、感謝しています。 ●事前の打ち合わせが難しい中、その時その場で臨機応変に支援してくださっています。 ●支援報告があたたかみがあり、保護者も嬉しいと思います。 ●多視点で考慮して支援していただいていると思います。 ●いつも笑顔で対応してくれます。					いただいたご意見を踏まえ、児童一人ひとりの可能性を広げられるよう、実態に即した支援を継続してまいります。事前の打ち合わせが難しい場面においても、その時々状況に応じて柔軟に対応し、保護者様や訪問先施設の皆さまに安心していただけるよう、温かみのある支援報告と笑顔を大切にしたいと気持ちを今後心掛けてまいります。	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年 2月 1日					
実施状況	評価項目	チェック項目		はい	いいえ	実情に即した内容とするよう工夫・改善の必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
体制・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員数は適切であるか。		6		児童の特性や訪問先施設の環境に応じて、必要な教員や教材を選択し、支援に活用している。	教材の内容や活用方法について、今後も情報収集を行い、支援の幅を広げていく必要がある。
	2	利用希望に対して、職員の配置数は適切であるか。		3	3	利用希望や支援内容に応じて、専門職が対応できる体制を整えている。言語聴覚士を増員したが、ニーズと差があり、今後の利用状況に応じて、柔軟な人員体制の検討を行っている必要がある。	今後の利用状況に応じて、柔軟な人員体制の検討を行っている必要がある。
	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(日曜設定と振り返り)に、多く職員が参加しているか。		6		日々の欠振記録や振り返りを通して、業務改善につながる意識を持って取り組んでいる。	職員全体での共有や、より体系的な振り返りの機会について検討していく。
業務改善	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6		評価結果をより具体的に改善につなげる仕組みづくりが今後の課題である。	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6		日常的なやり取りや打ち合わせの中で、職員の意見を共有している。意見を体系的に整理し、業務改善に反映する方法を検討していく。	
	6	第三者による外部評価は実施したが、アンケート結果を通して、事業所の課題を把握している。		1	5	評価結果をより具体的に改善計画へ落とし込む必要がある。	
適切な支援の実現	7	職員が児童の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を開催する機会が確保されているか。		6		外部研修や自主的な学習を通じて、専門性の向上を図っている。研修内容の共有や法人内研修の充実について検討する。	
	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。		6		行動観察や観察を取りを通して、児童の状況を多角的に把握している。アセスメント結果の整理や共有方法について、引き続き工夫が必要である。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの成長に関わる職員が共通理解のもと、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		6		関係機関間で情報共有を行い、児童の最善の利益を考慮した支援を行っている。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者と連携し、訪問先施設や居住等の意向を盛り込んでいるか。		6		訪問先施設や居住の意向を確認し、支援計画に反映している。連携の機会をさらに充実させていく。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。		6		支援計画を基に、一貫性のある支援を行っている。共有方法の改善や確認の機会を増やす。	
	12	こどもの発達行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		6		日常の行動観察を中心に、児童の発達状況を把握している。評価の観点と整理し、支援により活かしていく。	
	13	「保育所等訪問支援の具体的な内容」も明記しながら、具体的な支援内容が設定されているか。		6		ガイドラインを踏まえた支援内容の設定を意図している。内容をより具体的に示す工夫が必要である。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。		6		支援計画を意図しながら、柔軟に支援を行っている。計画と実際の振り返りをもより丁寧に行う。	
	15	支援開始時には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		6		必要に応じて、支援内容や役割を確認している。打ち合わせの記録や共有の方法を検討する。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。		6		支援後に記録を通して振り返りを行っている。振り返りの機会をさらに高めていく。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援方法を尊重して支援を行っているか。		6		訪問先施設の方針や環境を尊重した支援を行っている。施設ごとの理解をさらに深めていく。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。		6		毎回の支援について記録を作成し、次回支援に活かしている。記録の整理・活用方法の工夫が必要である。	
関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向を確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。		6		保護者や訪問先の意向を確認しながら支援を行っている。定期的な見直しの仕組みを明確にしておく。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。		6		必要に応じて関係機関と情報共有を行っている。参加体制や役割の整理が必要である。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		6		教育・医療・福祉機関と連携しながら支援を行っている。連携内容の記録と整理を進めていく。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小・中学校)の間で、支援内容等の情報共有と相互理解を行っているか。		6		就学時には情報共有を意図して支援を行っている。移行支援の体制をさらに明確にする。	
	23	児童の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		6		外部研修等を通して専門性向上を図っている。	学びの支援に反映する仕組みづくり。
	24	自己支援協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		6		必要に応じて地域とのつながりを意識している。	参加機会の拡充を検討する。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		6		日常的に保護者と情報共有を行っている。	共有内容の整理と分かりやすさの向上。
	26	地域の対応力の向上を図る観点から、家庭に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の困り感への研修の機会や情報提供等を行っているか。		6		個別の相談対応を中心に支援している。	家族支援の体系化が今後の課題である。
	27	運営規程、利用希望等について丁寧な説明を行っているか。		6		利用開始時に丁寧な説明を行っている。	説明内容の見直しと資料整備。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。		6		訪問先施設へ事業目的の説明を行っている。	説明の機会や方法の工夫。
保護者等への説明等	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意向の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を含め、こどもや家庭の意向を確認する機会を設けているか。		6		計画作成時に家庭の意向を確認している。	確認内容の記録の整理。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。		6		計画説明と同意取得を行っている。	説明の分かりやすさの向上。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言や支援を行っているか。		6		相談があった際には柔軟に対応している。	相談機会の増加。
	32	父親の会の活動を支えることや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6		個別対応を中心としている。	交流機会の在り方を検討。
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に告知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		6		迅速な対応を心がけている。	体制の明文化。
	34	定期的に連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動経路や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		6		必要に応じて情報発信を行っている。	定期的な発信の検討。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		6		個人情報保護を徹底している。	継続的な意識付け。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		6		分かりやすい説明を心がけている。	多様な配慮方法の検討。
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に応じて適切な体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。		6		訪問先からの相談にも対応している。	対応内容の整理。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスをやっているか。		6		必要に応じて意見交換を行っている。	実施方法の整理。
訪問先施設からの依頼等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切な支援内容の共有を行っているか。		6		支援後に内容を共有している。	共有方法の工夫。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		6		取扱いに十分配慮している。	定期的な確認。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、復旧体制を築きながら、専門的な助言を行っているか。		6		訪問先からの相談に対応している。	助言内容の整理。
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		6		各種マニュアルを整備している。	訓練機会の充実。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な訓練を実施する等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		6		安全を重視した支援を行っている。	研修の継続。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。		6		事例共有を行っている。	再発防止策の明確化。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		6		研修等を通して意識向上を図っている。	継続的な学習。
非常時等の対応	46	このような場面にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決まり、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		6		必要性の理解と説明を重視している。	記録・説明方法の確認。